

組織の概要 (企業用)

会社名 有限会社ケーシーショップ

| | | | |
|-------------------|--|-------------|--------|
| 所在地 | 〒856-0021 長崎県大村市鬼橋町 28-3 TEL: 0957-55-6702 FAX: 0957-55-6702 E-mail: info@kc-shop.com suku@kc-shop.com | | |
| ホームページ | http://www.kc-shop.com/suku2/ | | |
| 設立年月 | 平成 13 年 9 月 | | |
| 代表者 | 山下 恵美子 | 担当者 | 代表者に同じ |
| 資本金 | 3,000,000円 | 従業員数 | 1 名 |
| 沿革 | 平成 13 年 9 月 コンピュータの製造・販売・導入指導を主業務に営業開始 平成 15 年 3 月農業分野開拓のため試験農場開設。 平成 15 年 7 月試験農場にリサイクル装置を設置。ホームページ開設 現在、リサイクル装置の生成品を使用した農作物の作付け試験中。 | | |
| 事業概要 | コンピュータ製造・販売 コンピュータソフト制作・販売 コンピュータ導入指導 コンピュータの古物売買 輸入雑貨の販売 農産物の生産・販売 | | |
| 環境に関する活動実績 | 新規開拓のため活動実績なし | | |

売上高 (14 年度) 1,058,060 円

政策の分野

- ・ 持続可能な循環型社会の構築

政策の手段

- ・ 予算・資金措置
- ・ 調査研究、技術開発、技術革新
- ・ 組織・活動

団体名：有限会社ケーシーショップ

担当者名：山下 恵美子

政策の目的

現在の廃棄物処理は、新たに大規模焼却炉施設を各地域に設置するとともに、リサイクルのために多額の予算を計上している。更に焼却灰の埋立により処分場地域の将来にわたる環境悪化が懸念される。

また、農地に隣接する場所では農業残渣が散在し、現地にて焼却されているケースが多い。農協などにおいて農ビ等のビニール類を回収する対策も行っているが、小規模農家では回収日まで保管場所を確保しなければならず、その負担も大きい。植物系残渣は堆肥化施設の設置やバイオマス事業を推進することで対処する地域も増えてきているようだが、やはりコストが増大し持ち込まれる残渣そのものに異物混入などが懸念される。

そこで、この**廃棄物処理の一部を各地域で更に小規模単位に分散させることを提言する**。その方法として当社が提案するリサイクル装置(濃縮磁気イオンセラミック製造機)を各地域(小企業・町内班単位等)に設置、現地において主に有機系廃棄物の処理を行う。また、処理過程において排出した灰・処理水(以下残渣物と称する)もリサイクルさせる、いわば**廃棄物の地産地消**を行うことを目的とする。

背景および現状の問題点

農業残渣と共に家庭用ゴミの自家処理も兼ね当装置を設置し有機系廃棄物を処理するものであるが、廃棄物処理業者との競争を鑑み、その処理範囲を20～30%に抑えたり、廃棄物の種類を限定するなどの対策が必要である。

また、当装置が社会に認知されておらず、科学的根拠も確立していないため、普及に大きな障害となっている。

現段階では当装置が受注生産であり研究開発中でもあることから、大量生産は困難である。そのため、限定した地域での普及活動及び実証試験を行う必要がある。

更にその残渣物については、公的研究機関の調査・分析の上、農業資材等として市場へ参入することが望ましく、農業機関での研究開発が必要である。

政策の概要

廃棄物の地産地消を実施するため、使用するリサイクル装置を公的研究機関により分析・調査すると共に、農業試験場等により残渣物を使用した農作物の育成を行い、その有効性を実証する。

既に当社試験農場にて試験中でもあり、長崎県北高来郡高来町のニラ栽培農家 森 好晴氏方では残渣物である処理水をベースに調合した植物活力液等を農林試験場等にて分析中である。

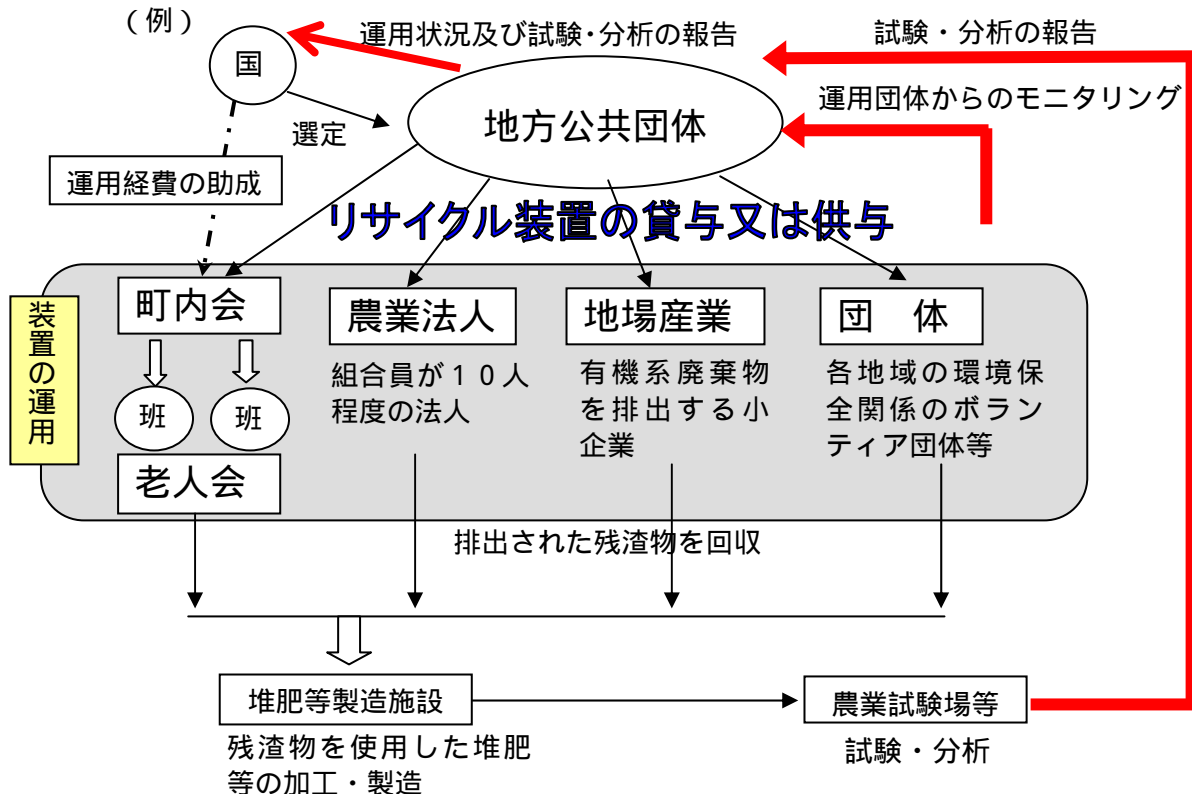
また、長崎県西彼杵郡西海町の株式会社岩松において、会社主業務で集積された木材と残渣物を調合し、堆肥を製造・研究中である。

上記事業の結果が良好であれば、残渣物は廃棄されることなく再利用が可能であることを実証できるものである。

また、他社の小型リサイクル装置や炭化炉も試験に加え、最良の装置を選択する必要もある。

政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

- 1 装置の普及
各地方公共団体への広報活動。農協等での展示・発表・テスト公開
環境関連団体の展示会への出展
インターネットを利用した情報の公開
- 2 装置の調査分析・利用方法の確立
公的環境調査機関においてダイオキシン等の排出量を詳細に分析する。
設置場所の適合可否を調査（住宅密集地にも設置可能か）
- 3 装置の持続的研究のための助成
- 4 購入先への助成又は融資の優遇
- 5 モデル事業の実施



現在、長崎県大村市において研究開発中のほか、三重県四日市市の朝明精工で消煙装置を付加した装置を製品化に向けて開発中である。

また、広島県広島市の伊勢丹商事では、中国国内での製造・販売に着手し、海外に向けて普及を目指している。

政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

キヒラ濃縮磁気イオン研究所 製造元 研究開発 当装置の提供
国 モデル事業地域の選定 地方公共団体への事業費補助
地方公共団体 リサイクル装置設置場所の選定 当装置の貸与又は供与
町内会等団体・農業法人・有機系残渣を排出する企業及び店舗 試験運用

政策の実施により期待される効果

- ・各家庭から排出されるゴミの収集に係る輸送コスト・人件費の軽減
- ・大規模焼却施設の運用コスト軽減
- ・埋立処理に係わる環境悪化の改善
- ・農地近隣箇所の環境改善
- ・残渣物を利用した資源循環型農業の形成
- ・当該装置運用にかかわる新たな雇用（高齢者・身障者雇用の実現）
- ・地域の環境活動への参画意識高揚
- ・リサイクル業界全般における研究開発の進展

その他・特記事項

- ・当装置は、現在も試験研究中であり更なる発展が望めます。
- ・製造者は、地球環境の保全及び社会全般にわたる利益の還元を重視しております。
- ・当社の企業規模から考察するところ、実施主体となりうる設備・人材等を提供することは今後も不可能と思われます。よって、この提言を機に官民協同での研究開発が行われ、環境改善に大きな役割を果たす装置の普及ができることを望むものです。

組織の概要 (企業用)

会社名 合資会社 環境ポートフォリオ研究所

| | | | |
|------------|---|------|------------------------|
| 所在地 | 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前二丁目 34 番 20 号 TEL: FAX:03-3792-6537 E-mail: | | |
| ホームページ | | | |
| 設立年月 | 平成 12 年 12 月 | | |
| 代表者 | 西岡 信彰 | 担当者 | 西岡 信彰 (ペンネーム 西岡 弘観) |
| 資本金 | 20000円 | 従業員数 | 0名 |
| 沿革 | | | |
| 事業概要 | 環境の調査、解析およびその情報提供 イベント企画 出版物の編集および制作 他 | | |
| 環境に関する活動実績 | <p>情報の提供 提言</p> <p>1996 「地球温暖化問題に関する対策の意見」に応募 報告参考資料 p 22</p> <p>1996 地球環境パ - トナ - シッププラザのホ - ムペ - ジに応募 「地球理想環境推進世界大会 / 環境オリンピック開催をめざして」 (一定期間 掲載)</p> <p>1998 現代展望 12月号掲載 「環境オリンピックをめざして」</p> <p>1999 現代展望 7月号掲載 「環境ポ - トフォリオの発想」</p> <p>2000 政経5月号掲載 「環境文化の輸出と日本」 共著</p> <p>2002 現代展望 1月号掲載 「都市再生 首都圏居住者への施策」</p> <p>2002 平成 14 年度 「NGO/NPO/企業環境政策提言」に応募 「ワ - ルド総合環境大会(仮称)」の構築と日本からの提唱 (1995 ~ 関係方面に提供)</p> | | |

売上高 (14 年度) 0円

政策のテーマ 環境ポートフォリオ的評価
自由軸と平安軸とによる統合軸の仕組み構築へ

政策の分野
・ 社会経済制度

政策の手段
・ 制度整備

団体名：合資会社 環境ポートフォリオ研究所

担当者名：西岡信彰

政策の目的
環境政策に「環境ポ - トフォリオ的評価」の視点で制度構築を期待するものである。

背景および現状の問題点
グローバル化で人の欲求は増大している。 持続可能な未来のため、多様な自由選択と他方、環境負荷、相互の葛藤軋轢、内面抑圧にも配慮の統合的な評価の仕組み構築が必要である。

政策の概要
人間をとりまく理想環境は何か 「現実の理想環境とは個人と集合としての集団において、その機能発揮・自由選択の多様さをできるだけ確保して(自由軸・A)しかも、その際の環境へ負荷、相互の葛藤軋轢、内面抑圧をできるだけ少なく平安を求めて(平安軸・B) その仕組み構築 (統合軸 A /B)に向けて努力するプロセスの展開といえる」との見解で (例えば それぞれの力点で A ヘーゲル B マルクス A/B 西田幾多郎) ならば、 暫定試案として 二つのベクトル(自由軸・A)と(平安軸・B)とを人の大きな四つの機能と人の意識階層に関連する社会の重層的多層構造の五つの階層で要素内容(指標)を評価し、ポートフォリオ(統合軸・A / B)を向上させる仕組みを意図的に図るものである。

政策の実施方法と全体の仕組み(必要に応じてフローチャートを用いてください)
環境ポートフォリオ的評価方法 (要点)
1. 統合軸・A (a1 a 2 a 3 . . .) / B
(ヒントの多くは 西田幾多郎全集7巻 aは個別 Bは場・一般場の弁証法的発展)
その他 関連ヒント GE社のロウレンスD・マイルズの価値工学・価値分析
ドイツのワイツゼッカー博士の「ファクター4」
2. 自然界 人間社会 内的世界に 二つのベクトルがある。
敢えて区分対比も (ヒントは鈴木大拙 東洋的な見方、 和辻哲郎 風土)
A・・遠心力 ビックバン 直線 個別 時間的・速さ 人間中心
(機会の平等 質の向上 認識力 競争 発展 繁栄 動きの激しさ・市場 葛藤軋轢の激しさも) (一神教 対立 遊牧 移動 西洋的 父性 オス)
..... 個別の自由軸・A へ
B・・求心力 万有引力 曲線 全体配慮 空間的・場 自然循環
(結果の平等 量の拡大 包容力 調和 協調 平和 静かな空間・癒しの場 停滞が続くも) (多神教 融合 農耕 定住 東洋的 母性 メス)
..... 全体配慮の平安軸・ B へ

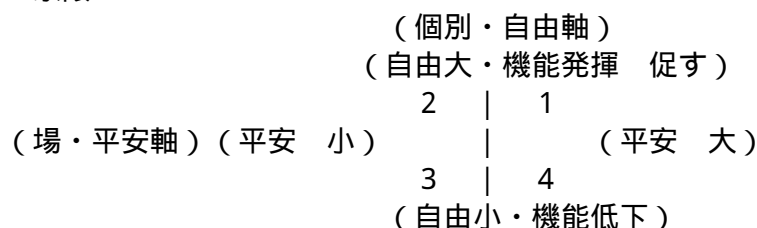
- 3・人の機能の大きな四つの分野 (人的構造で機能は多様な見方も)
 (ヒントは ユング心理学 ・・感覚 思考 感情 直感)
 (機能は潜在的なものを含めて、その発揮へ ヒントは アマルテア・セン)
- (1) 感情的なもの (感)感性 芸術 美
 - (2) 思考的なもの (思)知性 哲学 真
 - (3) 内省的なもの (内)霊性 宗教
 - (4) 行動的なもの (行) 生・歴史 善 として

- 4・人の意識階層に関連する社会(人の処世)の重層的多層構造 の五階層区分
 前提 (1) 人を基準に (ヒントは ベンサム JSミル ジェームス)
 (2) 人の意識階層に重層的多層構造の上位概念への発展がある。

参考 ヘーゲル 『精神現象学』 歴史哲学 法哲学
 和辻哲郎全集 「人間(間柄)存在」の全体性・個人性に関する分析
 井筒俊彦全集 「意識と本質」の潜在意識構造モデル1~4
 ユング心理学 潜在意識の階層 (C.A.マイヤ-)
 ハルトマンの価値序列 ・マズローの欲求段階説
 その他に 人生の意識変化 修行・求道での変化 宗教の階梯意識 など

- 5・五階層区分 (1)人とその集団階層 (10人・M の乗数で)
 個人・家族M1、 団体M3、 地域M5、 民族・国家M7、 地球M9
 (2) 価値と意識 (階層内で 多くの項目で A/B 分析も)
 快・不快感VM1、 財・損得VM3、 ルール(特定の団体・地域)VM5
 善悪(場限定と短期間)VM7、 正義(場の無限定と長期普遍)VM9、

6・理想環境は第1象限



- (1) 評価は(自由軸 A)と(平安軸 B)の 二つの軸で
 人間全体をとりまく環境は大きな次元で
- (2) 統合軸の仕組み 参考 例
 第1象限に・・・民主主義(フクヤマの歴史の終わり) 民主主義国家間では
 戦争回避(猪口) 基本的人権/ 環境負荷・生命維持の負担少ない体制 安全
 安心 健康維持 経済基盤の確立/ 連帯・信頼の確立 公教育 社会変動への対
 処教育/ 社会奉仕 安らぎ・美的・時空間提供/ 心の教育(自己責任・自助努力・
 プラス思考、認識力・包容力の拡大・倫理・情操・愛
 ・財以外の多元的に多様な階層的な価値観を(メディア・イベント・顕彰・資格
 で推進) オンリーワン 財について足るを知る・80%主義・中庸
- (3) 第3象限に特に該当する事象を少なくする努力 (第1象限の ほぼ逆)
 (第2象限・資本市場 第3・専制政治(ハイエク) 第4・共産主義・原始
 (A・理想的なものを見出し、B・普遍化する、仕組みに、M1~M9が参加・参加意
 識が得られるための方策・目標 方法公開 体験へ、
 理想世界推進への全体と個の目的理念、目標が相互に緊密に反映される策を

| |
|---|
| <p>政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）</p> <p>「環境ポ - トフォリオ評価」 提言と具体例評価</p> <p>1 . ワ - ルド総合環境大会（仮称）～環境オリンピックをめざして～（平成14年提言）多くの分野・部門・・・努力するプロセスとして一定期間のフロ - の変化に注目を（自由軸 A）規模は・・・個人・家族(行)M1～～国家M7 それぞれの個別努力 地球規模でのイベント価値（感 思 行）VM1～～～VM9 参加と達成感 ・・・・個別の機能発揮を促すのではないか （負の部分・・・(行)M3事務・経済負担 VM3損得 （平安軸 B）地球規模での協力体制へ （行）（感）（思）M1～M9 新たなパラダイム認識 インタ - ネットで情報共有 協調思考へ 資金調達など制度への理解 （行）（感）（思）VM1～VM9 ・・・・全体の平安に寄与するのではないか （負の部分・・・（感）M5地域程度の羨望 VM1不快感も、このために 実施は漸進的に 例 既存の冠頭賞～希望団体参加～対象細分化～</p> <p>2 . 環境教育の特別区 （受入自治体で構想を） 都市圏の希望校は一定期間を自然環境学習に 十分な感覚体験を（シュタイナ - ） （例）北海道へ 小学5年 中学2年の3月間 学年全体で留学 （自由軸 A）個人・家族（感 思 行）M1 VM1～VM7 自助努力 北海道の観光振興 （行）M5 VM3 （負の部分・・・（行）M1～M3 VM1～VM3 経済負担 （平安軸 B）地域M5 環境配慮・非行を防ぐ人を傷つけないVM1～VM7 （負の部分・・・ほぼなし 学年全体であれば羨望もなし （注・・・教育について 日本環境先進国A/B に力点を （例）a国の早期英才教育Aに力点 b国の宗教教育Bに力点</p> <p>3の1 . 首都圏外周に半円形状の環境森林100年構想（首都圏連合体で構想を） 多摩川から入間川、荒川 そして利根川へ 両岸の幅 1キロ程に 自治体と住民で植樹 100年後には森林を 維持管理コストに配慮・・・例 明治神宮の森（本田）鎮守の森（宮脇）</p> <p>3の2 . 東京都心の公園をつなぐ公園風遊歩道50年構想（東京都で構想を） 車優先から歩行者への配慮 例えば、多摩川から砧緑地そして代々木公園・ 新宿御苑から中央線沿いに飯田橋付近から皇居の外周を経て隅田川へ 特定の車道を段階的に/時間制限/片道のみ走行/片道に植栽/さらに居住 者のみ車進入可へ （自由軸 A）（感 行）M1～M5 VM1～VM7 個別の附加価値向上へ （負の部分・（行）M1～M5 VM1～VM5 一時経済負担 動低下 （平安軸 B）（感 行）M1～M5 VM1～VM7 景観 防災 癒し永続的 （負の部分・・・（感 行） M1～M3 一時完成まで （例えば・・・景観については 日本の象徴的な場は地球規模で観光の魅力（感）VM9 地域振興・企業の経済利益(行)VM3 であり高層建築は比較して配慮したい。</p> <p>その他 個別の評価基準については アンケ - ト方式で決定し、グラフ作成（二軸と正 負の4点で面の構成） 階層内に多項目、時間の三段階、解析も より明確とな る。</p> |
| <p>政策の実施により期待される効果</p> <p>持続可能な制度構築へ 評価指標、みなし仕組みの対比、の明確化が期待される。</p> |
| <p>その他・特記事項</p> <p>なし</p> |

団体の概要 (NGO/NPO用)

団体名 特定非営利活動法人
エコエネルギーによる地域交通システム推進協会

| | | | |
|-------------|--|-----|-------|
| 所在地 | 〒221-0865 横浜市神奈川区片倉 1-17-310-302 TEL: 045-481-6069 FAX: 045-481-6203 E-mail: | | |
| ホームページ | http://www.areev.com | | |
| 設立年月 | 平成 11 年 12 月 * 認証年月日 (法人団体のみ) 平成 12 年 5 月 15 日 | | |
| 代表者 | 内田 敬之 | 担当者 | 田村 譲二 |
| 組織 | スタッフ 1 名 (内 専従 名) 個人会員 15 名 法人会員 2 名 その他会員 (賛助会員等) 2 名 | | |
| 設立の経緯 | SEV/電気自動車研究会に集まる各分野の豊富な技術、知見、ノウハウを社会的、実践的に運用する組織を目指して設立された。特に、自然エネルギー、電力供給システム、電動車両関係技術、交通計画、社会運動などの専門家をテーマに則してプロジェクトに結集し持続可能な社会構築の一助たらんことを目指している。 | | |
| 団体の目的 | この法人は、持続可能な地域社会の実現を目指し、エコロジカルなエネルギー需給システムや移動システムの実現に取り組む団体、自治体の支援を目的として設立された。電気自動車研究会に結集する 500 に及ぶ多方面の会員、企業の英知を活用し、エネルギー、交通、運送などの諸問題に取り組む組織に対して、調査・研究・開発・普及・教育等の分野で実践的に支援活動を行う。 | | |
| 団体の活動プロフィール | <ol style="list-style-type: none"> 1) 「電気自動車の町」作り / 高知県大正・香北両町の住民団体・自治体と協働。 ---12 年度は地球環境基金、13 年度は NEDO の助成により実施。 2) 誰でもできる手作り EV / 「電気自動車製作ハンドブック」を出版。 3) 21 世紀スローピークル「PEV」1 次プロト / NHK「おはよう日本」で放映。 4) 昨年 5 月二次プロト完「10 回環境自治体会議」に出展。 5) 「PEV」第 1 次量試車 10 台製作 内 5 台が四国 EV ラリーに出走 特に燃費計測で、全部門を通してベストレコード 87.7km/kwh をマーク、1・2 位独占。 6) 「低速交通体系」の提唱と調査研究を開始。「21 世紀型低速交通体系」を提案し環境省政策コンペで優秀賞を獲得。 7) 川崎市における路面電車導入プロジェクトを商工会議所の要請により支援。 8) 横浜市の路面電車導入研究会を支援。 9) 路面電車新設・延伸に取り組む全国の活動状況や経験の共有化を目指して、地球環境基金の支援で、情報基盤を整備中。 10) 本会メンバーによる開発技術の普及支援。 スーパーキャパシターによる無架線電車 多様な自然エネルギーによる発電電力の直流ミキシングシステムの普及推進。 ---- NEDO 助成により一昨年完成。 | | |

活動事業費 (平成14年度) 600万円

政策のテーマ 環境及び高齢化問題に対応する人間サイズ移動手段の提唱と
具体的に運行するモデル地域づくり

政策の分野

- ・ 個人の価値観・ライフスタイルの変換
= コミュニティを生活の中心に
- ・ 地球温暖化の防止
- ・ 低速交通用ゼロエミッション車の開発、利用促進

政策の手段

- ・ 道路運送車両法、道路交通法、都市計画法等の法律、政省令等改正
- ・ 政策誘導を図る補助金・インフラ整備等
- ・ 低速交通体系、低速車安全基準等に関する調査研究
- ・ 中・高等学校での組立・運転・環境教材として

政策の目的

一般市民の意識の高まりは見られるものの、具体的には改善の兆しが見られない地球温暖化問題を劇的に解決する手段として、併せて高齢者のモビリティ確保、ハードではなく制度による交通安全の問題をも同時に解決するため、昨年の低速交通体系の提唱に、人間サイズの移動手段という新しいキーワードを加え、その普及とモデル地域づくりを提案する。

低速交通体系は、昨年の提言した通り、歩行者、自転車、自動車が安全に共存し得る交通体系であるが本年は新しい概念として、人間サイズということを強調したい。人間サイズの移動手段とは、文字通り身長・体重・走る速度が人間並みであると同時に、走行距離に対するエネルギーの消費、ひいてはCO₂の排出に関し、人間が機械に頼らずにその移動を行ったときに発生するレベルを超えない。その様な移動手段を指す。

本年8月23・24日徳島において開催された四国EVラリーにて5台参加したPEVはほぼこの人間サイズの条件を満たし、中でも筑波大チーム雷亀号はこのラリーの種目である燃費計測において、87.7km/kwhを記録した。ガソリン1リッターは10kwhであるから、そのまま計算すれば、この燃費は、搭載エネルギー量でリッター877kmを走ることになる。更には、ここから算出される距離あたりのCO₂排出量は早足で駆ける人間のそれよりも少なかった。因みに私がこれまで6万km乗ってきた愛車ファンカーゴの燃費は13.1km/リッター=1.34km/kwhであり、雷亀号はCO₂排出がその34分の1と計算された。つまり人間サイズとは、かつて車が發明される前に主たる移動を人間の足に頼っていたそのレベルにまで、利用する交通手段のCO₂の発生を抑えようというものである。

昨年の政策提案にも示した様に、現実の生活道路の最高速度は時速20~30km程度で制限されているにもかかわらず、時速100km/時を超える性能の自動車がその交通手段として利用され、ASVと称して周囲に与える危害を忘れてドライバーの安全のみを追及し、よろいかぶとに身を固めた1トンを超える重量級の車両が本流となっているが、本来速度を下げるということに勝る安全はない。文献によっても時速20kmの速度での死亡事故は殆ど発生しないとされており、20kmの走行速度を前提とすれば車の安全規制は大幅に緩和可能であることは昨年示したとおりである。

また上記の意味での人間サイズの車が、これから更に増加してゆく加齢により反応に遅れが生ずる高齢者に対しても必要となっていることはいまでも無い。現在原付を含む二輪車の一部は16歳から免許取得可能となっているが、この人間サイズの移動手段であれば、条件付で更に適用年齢の幅を広げることも考えられ、こうした車両を使つての中学・高校における、分解組立実習・構造学習・操縦訓練・更には環境教育の教材としても格好であり、これも本提案の範囲である。

このような低速交通体系を実現するため、小型、軽量、低速の3つの特性を有する低速車規格の整備及び導入、高齢者・年少者のための低速車用免許制度の拡張、低速車が歩行者、自転車、既存の自動車と安全に共存できる低速交通地域（制限速度20km/時以下の一方通行道路による交通ネットワークを中心とする地域）の指定・整備等の施策を総合的に展開する。

団体の概要 (NGO/NPO用)

団体名 (申請中) 特定非営利活動法人
 関西修景自由作家連合 [NPO KALALA]

| | | | |
|-------------|--|-----|-------|
| 所在地 | 〒550-0011 大阪市西区阿波座 1-3-18 エッグビル本町 TEL:06-6532-8512 FAX:06-6532-8543 E-mail: | | |
| ホームページ | | | |
| 設立年月 | 1993年4月*認証年月日(法人団体のみ) 2003年12月(予定)日 | | |
| 代表者 | 藤田 好茂 | 担当者 | 橋本 庄弼 |
| 組織 | スタッフ 名(内専従 名) 個人会員 15名 法人会員 0名 その他会員(賛助会員等) 200名 | | |
| 設立の経緯 | <p>関西を中心に活動する造園関係者の有志は、21世紀の造園界を展望して業界の発展を図るため、1993年の見学会を発端にKALALAを結成した。</p> <p>その後、造園関係業5団体が設立されるに伴い、活動の向上展開を実現させる努力をして来たが、その間この活動に対して市民の支持ないし参加の気運の高まりを受けてNPO設立の運びとなった。</p> | | |
| 団体の目的 | <p>美しい国土の保全を継承すると共に、生活環境の景観整備に積極的な市民と協力し、国内外の関係組織とも交流を保ちつつ「水と緑」による風のランドスケープを柱とする広汎な造園活動を展開することを目的とする。</p> | | |
| 団体の活動プロフィール | <p>NPO-KALALAを構成するメンバーは、1993年当初からランドスケープ問題に関して、海外、国内の研修視察を行い、情報の収集と交流に努めて来た。ヒートアイランド現象が著しい都市環境に対して緑化による環境の改善が今日の最も重要な課題がある事を再認識した。</p> <p>これについては、大気とランドスケープとの相互的な関係を緑化の観点から検討し、その解決を目指す方策を確立するために衆知を結集する必要がある。</p> <p>このため京阪神を中心とする地域の市民、特にランドスケープ問題に関心をもつ延べ500人を越す人達に、現地研修と講演などすべてに活動して来た経緯がある。</p> <p>現在はこの活動歴を背景に蓄積されたノウハウを生かし、活動の拡大と深化をはかりつつある。</p> | | |

活動事業費(平成14年度) 円

政策のテーマ

立体駐車場（駐車場）の修景緑化

政策の分野

- ・ 地球温暖化の防止
ヒートアイランド対策（都市緑化）

政策の手段

- ・ 条例化、税制措置、助成金

団体名：（申請中）特定非営利活動法人
関西修景自由作家連合 [NPO
KALALA]

担当者名：橋本 庄弐

政策の目的

都市活動の必要悪とも言われる、駐車場の立体化など、景観的に良くない構造物の顕在化を抑制すると共に、大気のコ₂問題を改善するなどの環境問題に関する対応を目的とする。

背景および現状の問題点

日本の大都市に於ける都市化の進行に伴う、ヒートアイランド現象の拡大は建築の高密化など地表の人工物による被覆は自動車交通の増加に伴う駐車場需要の増大によって加速されつつある。

これと関係した駐車場の立体化は都市景観に好ましくないインパクトを与えると共に、周辺に高濃度の自動車排気ガスの放出が増加する事となり、先端的な都市環境問題をまねくことになっており、的確な対応が求められつつある。

政策の概要

立体駐車場については一定規模以上の壁面で、道路に面した部分に対して義務化し、助成を行う。

平面駐車場については、駐車スペースだけではなく、通路等も緑化義務づけを行い、助成を行う。

政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

< 立体駐車場壁面緑化 >

従来の壁面緑化は樹木によるエスパリアや、ツタによる緑化が中心であったが、新技術は土が入った缶体と植物を植えるポケットによって成り立っている。土の入る部分は巾1.0m高さ0.5m奥行き15cmで、両面または片側に数個のポケットを取り付け、そのポケットに植栽する形式で植物は垂直に植えられ、根は成長に応じて缶体に入り、土のボリュームが多く、多種多様な植物の植付が可能であり、維持管理に多く手が掛からない構造である。（図 - 1 , 図 - 2 参照）

図 - 1

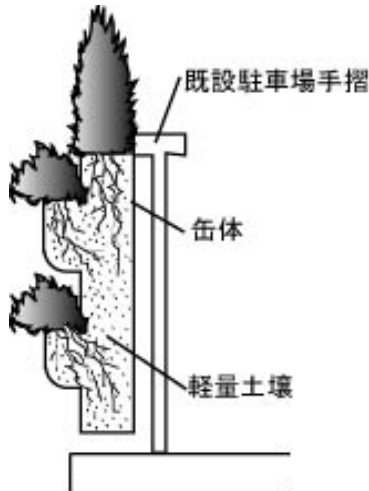
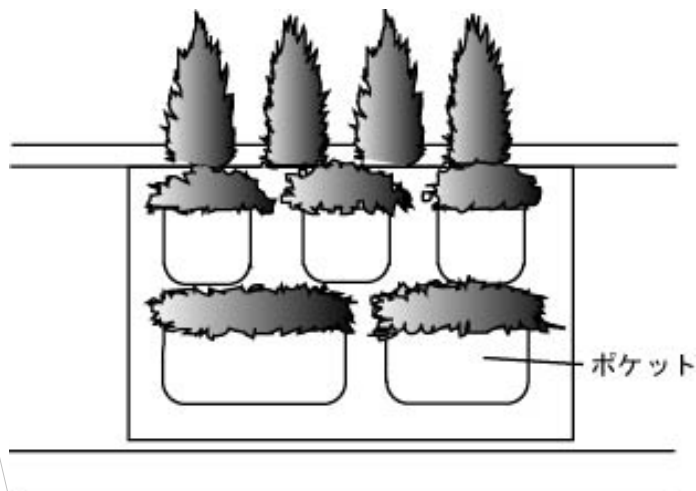
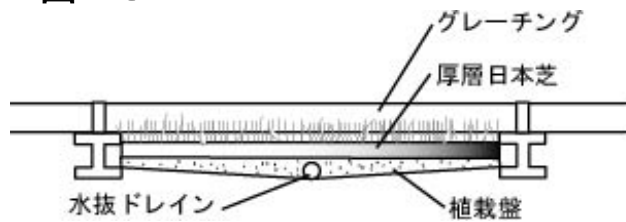


図 - 2



また、立体駐車場の最上階の緑化は、屋上面（グレーチング）の下に植栽盤を取り付け、厚層日本芝を張り、緑化を図るものである。（図 - 3）参照

図 - 3



< 平面駐車場緑化 >

既存アスファルトを撤去する事なく芝生化する工法で、グレーチング等の溝蓋でアスファルト面と溝蓋の間に10cm程度の空間を作り、アスファルトには水抜穴を開け、その上に3~5cmの植生土を敷き、その上に厚層日本芝を張る構造で成長に伴い溝蓋の目の間から葉を伸ばし、緑となる。

芝生化には駐車スペースだけでなく駐車場全面の芝生化を提案するものである。（図 - 4,5参照）

図 - 4

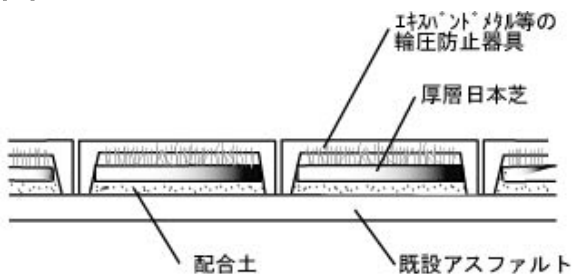
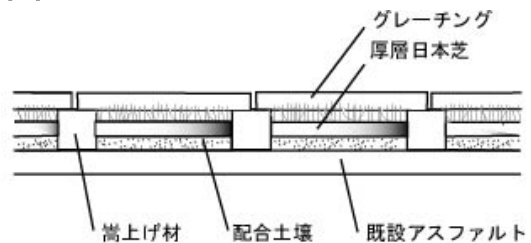


図 - 5



政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

環境規制により罰則を伴う義務化を法制化する事によって、NPO-KALALAIは一般市民と共に、自動車利用者や駐車場管理者に対して、国及び地方公共団体の税制措置や助成金制度の利用の仕方について、PRや提案を行い、さらには設計・施工・維持管理に対して協力、助言を行う。

政策の実施により期待される効果

既に屋上緑化の施工については助成対策が具体化することによって2001年に109件1091.75haが緑化された。さらに都23区に於いても義務化または義務化予定を検討している区が多く、屋上緑化は拡大しつつある。

建造物の外観を刷新する壁面緑化はメンテナンスの困難が従来の弱点であったが、新しい技術・工法の開発による改善を契機にして屋上緑化の場合を越える成果が考えられる。しかもその課題が壁面緑化の当初施工における資本の問題であると考え、これを補助する政策の実施はこの工法を通じて行われる壁面緑化の飛躍的な拡大、さらには都市の“みどり”による修景と環境の改善に資するところが大きい。

その他・特記事項

都市立体駐車場の壁面緑化を維持管理の容易な工法によって実現するプロジェクトは、今日の日本において都市のセーフティーと共にアメニティーを高める上に有効なものと考えられる。

また、その成功はウィーンのフンデルトワッサーハウス（百泉邸）のように都市環境の景観的改善を通じて地区の活性化をもたらす、環境学習の拠点となる可能性がある。

現実に空間の貴重な都市において、地積を有効に活用する壁面（壁体）の緑化はこれにふさわしい工法と素材の開発によって日本の都市に新しい可能性を生むであろう。

それは無味乾燥な建築部の中に「緑の館」を生み出して、紀元前にさかのぼるバビロンのハンギングガーデンの英知を再生させる21世紀の新しい都市景観を創造する可能性をもつ。アーバンオアシス実現への1歩となる。

その可能性は今夏の地球温暖化による炎暑や都市景観の劣化から指摘されると共に都市の必要悪とも言われる駐車場の問題への確に対応し、その高濃度CO₂の緩和や景観の改善に合理的な解決を示している。

当然、大気問題の改善結果は人類共通の課題に公平な成果を与える上にこのような緑化問題に対する有効な解決策を生む。この提案は新しい問題に対して画期的な新規性を持ち、実現に至る多くの示唆をもつと考えられる。

終わりに壁面の緑化に関する新しい手法の確立は、今日の流行であるガーデニングなどを通じ新しいパトナシップを生み出す場と機会を提唱するものであることを強調したい。

組織の概要 (企業用)

会社名 株式会社 松本建築デザイン

| | | | |
|------------|--|------|------|
| 所在地 | 〒973-8411 福島県いわき市小島町 3-7-1 TEL:0246-27-6000 FAX:0246-27-6363 E-mail:manan-ie@nifty.com | | |
| ホームページ | homepage3.nifty.com/manan-ie/ | | |
| 設立年月 | 1976年 5月 | | |
| 代表者 | 松本 隆 | 担当者 | 松本 隆 |
| 資本金 | 1000万円 | 従業員数 | 3名 |
| 沿革 | <ul style="list-style-type: none"> ・1976年～現在 株式会社 松本建築デザイン 一級建築士事務所 ・創業時より究極の省エネを目指した『真南向きの家』づくり ・1998～2002年、連続5年・特許庁主催の特許流通フェアに出展 ・2002年、ライセンス契約をした(株)ジュン・ホーム(日立市)が『真南向きの家』づくりを開始 www.junhome.co.jp | | |
| 事業概要 | <p>主要業務</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.住宅・非住宅の設計・施工・工事監理 2.建築に関するコンサルタント 3.地球環境問題と自然エネルギー利用に関する研究開発 | | |
| 環境に関する活動実績 | <p>地球環境問題と自然エネルギー利用に関する研究開発を行い、現在、特許出願中・特許取得技術で、実際の工事に活用しているもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スイング式アンカーボルト『アンカー芯利』 2. ドットアミーPlan 3. 相似系建築 4. 移芯伝芯工法 5. ツイストマウンテン工法 <p>なお、スイング式アンカーボルト『アンカー芯利』についての技術内容は www.trf2003.com にある。</p> | | |

売上高(14年度) 円

政策のテーマ 被災廃棄物の発生抑制に役立つ『スイング式アンカーボルト』

政策の分野

- ・ 持続可能な循環型社会の構築
- ・ 地球温暖化の防止

政策の手段

- ・ 法律及び国際条約の制定・改正または司法的解決
- ・ 調査研究、技術開発、技術革新

団体名：株式会社 松本建築デザイン

担当者名：松本 隆

政策の目的

近い将来、我が国で大地震が起こった場合、多くの建物が全壊あるいは半壊し、その結果多くの家屋自体が莫大な廃棄物と化することは阪神・淡路大震災の状況から見ても自明である。今後、そのような大地震の備えとして当社発明の「スイング式アンカーボルト」を活用することで耐震性が向上し、大地震に対して強い家づくりが可能であり、被災廃棄物の発生抑制に資する。また、その抑制で被災廃棄物の焼却量が減るので、地球温暖化の防止にも資する。

背景および現状の問題点

阪神・淡路大震災などで周知のとおり、我が国では地震発生が多く大地震で多くの尊い人命が失われ、しかも建造物が全壊あるいは半壊し相当な量の廃棄物が出るので環境に悪い。このことは建築基準法第1条の趣旨に反している。

確かにそのような大地震が起きてから耐震性のある建物・基礎はつくられているが、しかし、耐震性を考慮したアンカーボルト設置技術がほとんど無かったことは問題である。このように技術がほとんど無かったため、アンカーボルトの設置精度の悪さは建設業界において以前から指摘されていた。したがって、東海、東南海、南海地震あるいは将来の未知なる大地震に早く備えるためにアンカーボルト高精度設置技術の普及は急務である。

政策の概要

岡部ストラクト株式会社(アンカーボルト製造・販売専門企業)によると地震に強い家づくりのためにアンカーボルト設置技術がいかに重要であるかがよく分かる。なぜなら、同社の調査によれば阪神・淡路大震災において同社開発のアンカーボルト(ベースパック柱脚工法)を活用した建物の被害件数が0であったからである。

アンカーボルト設置技術の悪さは以前から指摘されていたにもかかわらず、その設置工法の改善がほとんど見られていないのが現状である。だから、インターネットで基礎工事クレーム情報を調べると、アンカーボルトのトラブルや「台直し」に関するひどい実態が分かる。

「台直し」とは、コンクリート打設硬化後、傾斜したアンカーボルトを人間の勘で無理やり曲げて適切に設置しようとするのではあるが、実際、「台直し」でアンカーボルトを適切に設置することは困難なことであり、したがって、建物の耐震性が著しく低下する。それに対して、当社開発の「スイング式アンカーボルト」が活用されると、そのような「台直し」をせずにアンカーボルトを適切に設置することが可能である。なぜなら、当社の特許技術でコンクリート打設直後、アンカーボルト位置測定と修正を行うため高精度設置が実現できるからである。

当社では、以上のようなことを踏まえてインターネットや営業を通じて建築業界の大企業・中小企業に当社開発の「スイング式アンカーボルト」の活用を働きかけ、耐震性を考慮したアンカーボルト設置技術の普及を早急に努める。

〔基礎工事クレーム情報：文字検索〕*これから建築計画のある方はぜひ御覧下さい。
アンカーボルト トラブル、配筋 トラブル、遣り方、基礎工事 トラブル、
アンカーボルト 台直し、鉄筋 台直し、基礎工事 墨だし、基礎工事 墨出し

政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

耐震性を考慮したアンカーボルト設置技術の普及は急務であるので、インターネットや営業を通じて建築業界の大企業・中小企業に当社開発の「スイング式アンカーボルト」の活用を働きかける。なお、通常、アンカーボルトが使用されているものには住宅・非住宅・鉄塔・土木・貯蔵施設・遊戯施設等がある。そのことを踏まえるとアンカーボルトの需要が多いことが予想できる。

全国規模で建築関係の大企業・中小企業によって当社開発の「スイング式アンカーボルト」が活用されると地震に強い建築物を普及させることができる。そうすることで、東海、東南海、南海地震あるいは将来の未知なる大地震対策となり、人命を守るのみならず住宅の全壊棟数を減少させ、被災廃棄物の発生抑制につながることを期待される。

その他、全国からインターネットで後述の「アンカーボルト設置診断」を受けてもらう。その診断結果により他社のアンカーボルト設置精度の実際を知ってもらうことで当社開発の「スイング式アンカーボルト」の活用を働きかける。今まで客観的にアンカーボルトの設置精度に対して確認する指標はなかった。当社の「アンカーボルト設置診断」の結果を偏差値化することで、技術レベルが客観的に判断できる。

政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

前回、平成14年度提言の“持続可能な社会づくり5000万戸、50年プロジェクト（5000万戸住宅の太陽エネルギー超高度利用インフラ50年計画）”に引き続き、日本大学工学部建築学科・若井正一教授（工学博士：東京大学）

政策の実施により期待される効果

東海、東南海、南海地震は80～90%の確率で今世紀半ばまでに発生が予想されている。そのような大地震が起きた場合、東海、東南海両地震による住宅全壊数がいずれも阪神・淡路大震災の約2倍の200,000棟近くにのぼることが、損害保険会社44社で作成する「損害保険料率算出機構」の試算で分かった。一方、中央防災会議の調査結果によれば東海地震が起きたときの建物の全壊棟数は最悪の場合、約463,000棟で、その内の強い揺れでの全壊棟数は約170,000棟であると想定されている。ちなみに、阪神・淡路大震災による全壊家屋数は104,900棟と発表され（出典：平成9年12月24日自治省消防庁災害対策本部・兵庫県南部地震の被害状況〔101報〕）、その大地震で発生したガレキ量は住宅・建築物系で約1,450万トン、公共・公益系で550万トン、併せて2,000万トンと推計され、県下の年間ごみ排出量の約9年分に相当する莫大な数値となった。

したがって、阪神・淡路大震災の実態を踏まえると東海、東南海、南海地震が起きた場合は少なくとも阪神・淡路大震災の数倍以上の被災廃棄物排出量になることが予想される。

そのような大地震またはその類に対して当社開発の「スイング式アンカーボルト」を活用すれば耐震性が向上するので、前述の阪神・淡路大震災における被害件数が0の例からいっても住宅の全壊棟数は減り、被災廃棄物の発生抑制が期待される。また、その抑制によって被災廃棄物の焼却量が減るので、地球温暖化の防止にも期待される。

| その他・特記事項 | | | | | | |
|--|-------------------|----------------------|----------------|--------|----------------|---------|
| 耐震性向上のための『アンカーボルト設置診断』 略称 ~ 『はなたば100点』テスト~ | | | | | | |
| アンカーボルト NO. / 総数 本 | | | | | 得点計 | 点 |
| 最高得点 | 略称 | 測定・判定内容 | 測定値・式 | | | 各得失点 |
| 25 | は | 幅方向 | 方位 | 誤差 | mm | 点 |
| 25 | な | 長さ方向 | 方位 | 誤差 | mm | 点 |
| 25 | た | 高さ方向 | 上下 | 誤差 | mm | 点 |
| 25 | ば | バランス度 (幅・長さ・高さ方向) | a 個 | c 個 | e 個 | 点 |
| | | | b 個 | d 個 | + + | |
| 0 | 100点 | 100点をとる条件 は傾き0°設置 | 方位 | 傾き | 度 | 点 |
| | | | 最小コンクリートかぶり厚さ | | mm | |
| 〔幅・長さ・高さ各方向〕での配点 | | | | | | |
| 判定 | a | | b | | c | d |
| 誤差 | 0 1 2 3 4 5 | | 6 7 8 9 10 | | 11.12.13.14.15 | 16 ~ 20 |
| 点数 | 25.24.23.22.21.20 | | 18.16.14.12.10 | | 8 6 4 2 0 | - 5 |
| 〔バランス度〕の配点 | | | | | | |
| a : 3個 | 25点 | b : 3個 | 18点 | c : 3個 | 12点 | d : 3個 |
| | | | | | | e : 3個 |
| | | | | | | - 16点 |
| a : 2個 | 16点 | b : 2個 | 12点 | c : 2個 | 8点 | d : 2個 |
| | | | | | | e : 2個 |
| | | | | | | - 8点 |
| a : 1個 | 8点 | b : 1個 | 6点 | c : 1個 | 4点 | d : 1個 |
| | | | | | | e : 1個 |
| | | | | | | 0点 |
| 〔100点をとる条件は傾き0°設置〕の配点 | | | | | | |
| 1°傾き | - 2点 | 2°傾き | - 5点 | 3°傾き | - 9点 | 4°傾き |
| | | | | | | - 14点 |
| | | | | | | 5°傾き |
| | | | | | | - 20点 |
| <p>なお、点数の優劣も重要であるが、まずゼネコン・住宅メーカー・工務店は耐震強度を考慮に入れた責任ある自社用のアンカーボルト許容誤差基準を明示しなければならない。</p> | | | | | | |